

No.76, 2018, Jan.,

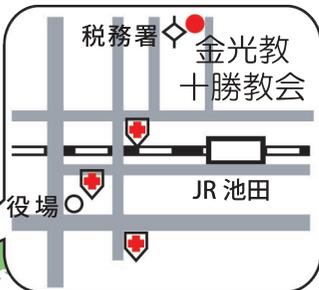
1 月・平成 30 年正月号

TEL 015-572-2322
FAX 015-572-4213



いけだ

Facebook 「金光教十勝教会」



金光教十勝教会
〒083-0001
池田町旭町 1-9

<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

十勝教会 だより 76



facebook



HP(PC 専用)



金光教公式 HP

平成三十年の元日を迎えて

金光教十勝教会

平成三十年、西暦二〇一八年の元日を迎えました。

みなさま、本年もよろしくお願
いいたします。

ちなみに今年は、金光教十勝
教会設立九十八年、金光教にとつ
ては教祖一三五年（生誕二〇四年）、
立教一五九年の年にあたります。

天地金乃神は昔からある神
ぞ。途中からできた神でな
し。天地ははやることなし。
は・や・る・こ・と・な・け・れ・ば・終・わ・り
もなし。天地日月の心にな
ること肝要なり。信心せん
でもおかげはやってある。

（金光教祖御理解）



いつになく早い冬の訪れ。十勝らしく厳しい寒さが続きます。

これは御理解とよばれる教祖様が信者さんにお話になったものの一節ですが、その中で、天地金乃神様について、「昔からある神」だと仰っています。

さらに「天地」には「はやり・すたりはないので、なくなることもない」とも仰っています。



前号にも書きましたが「天地

金乃神」様は別名「日天四（太陽）

月天四（月） 丑寅未申鬼門金

（土地）乃神」とも呼ばれ、天地

日月、いのちを育む太陽や大地、

生死を象徴する月（月齢＝汐の干

満）が神様であることを指します。

つまり私たちを生かし育む自

然＝天地そのものが天地金乃神

様です。

「天地ははやることがなければ

終わりもない」と言われるよう

に、太陽も月も大地（地球）も

最近できたものではありません。

天地は私たち人間が生まれる

はるか以前からありましたし、

はるか昔から休むことなく働き

続けています。

太陽も月も大地も私たちが生

まれた時には既にあり、途中で

なくなることもありません。で

すから、私たちにとってみれば、

天地は「あつて当然」、「あるの

があたりまえ」なものになって

います。

しかし、そういう「あつてあ

たりまえ」のはずの「天地」に

私たちはどれだけお世話になっ

ているのでしょうか？

例えば太陽、「朝になれば日が

昇る」のは「あたりまえ」なの

ですが、もし太陽が昇ってこな

かったらどうでしょう。暗く寒

い世界、その中で私たちは生き

ていけるでしょうか？

「雨の日には雨が降るのが当

然。水があるのが当然」と思っ

ていますが、雨が降らない水の

無い世界で私たちは生きてい

るのでしょうか？

私たちはそういう「あつてあ

たりまえ」のはずの「天地」の

働きに支えられていることをど

れほど理解し「ありがたい」と

感じているのでしょうか？

「信心しなくてもおかげはやつ

てある」と教祖様が言われると

おり、金光教の信心をしようが

しまいが、誰でも天地の働き、

つまり「天地金乃神様のおかげ」に支えられ生きていくことができます。天地金乃神様も教祖様に

「世の中に、太陽、月、大地という天地の働きを知らな

い者はいない ※意識

(明治 6 年旧暦 8 月 19 日のお知らせ)

とお伝えになつていきます。

そのとおり、誰もが日の光、大地の恵みなど天地の働きは知っています。ただ神様は

「しかし、その天地の働きのありがたさを分かるものがない」

とも仰っています。

○ 「自分を支えてくれる あたりまえだと思つてい

教の信心です。

そして、その「ありがたいと思う心」にさらなる神様のお働きが生まれ、一層大きな「おかげがいただける」と教祖様は教えられています。

○ 元日、テレビでは初日の出中

継が定番になっています。各地の日の出スポットには多くの観光客が初日の出を見に集まります。

一年の最初に昇る太陽。とてもおめでたく、縁起がよいものです。しかし、初日の出だけではありません。太陽が毎日昇ることがありがたいと思えるように、「あたりまえのことこそありがたいのだ」と思える心を育てる稽古、信心を進めていきましょう。

十勝教会 今年の主な祭典・行事日程

大 祭	(春) 4月15日(日)	(秋) 11月18日(日)
大掃除	(春) 4月 8日(日)	(秋) 11月11日(日)
霊 祭	(春) 3月21日(祝)	(秋) 9月23日(祝)
夏越感謝祭	6月30日(土)	
設立記念祭	8月19日(日)	
越年感謝祭	12月31日(月)	
薫別講社大祭	(春) 5月5日(祝)	(秋) 12月5日(水)

教会日誌 平成29年11月6日から12月31日まで

11月8日 帯広市、S家、葬儀式。9日まで

11月12日 大祭前大掃除（左掲写真）



11月13日 函館教会大祭、教会長参列・教話奉仕

11月17日 大祭前御用奉仕、大祭準備。18日まで

11月19日 生神金光大神大祭

11月26日 足寄町、N家葬儀。教会長、千鶴子先生、信徒会員会葬参拝。27日も

12月2日 帯広市、M家、式年祭

12月6日 薫別講社・生神金光大神大祭

12月6日 帯広市、M家、葬儀式。7日まで

12月9日 池田町、S家、式年祭

12月10日 本部・布教功労者報徳祭、玉置るみさん参拝

12月16日 帯広市、M家、旬日祭

12月25日 帯広市、S家、五十日祭・合祀祭

12月31日 越年感謝祭



写真
大祭前ご用奉仕



写真
生神金光大神大祭
(次頁も)

前日は氷雨混じりの雪がふりましたが、大祭当日は晴天となりました。



祭典前「親神のよざしのままに」斉唱



祭典前の信徒総代挨拶





参拝者代表玉串



立教神伝奉読



吉備舞奉納



信徒会長挨拶



教話・札幌教会長 西村先生



祭典後の直会宴

